

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	千葉県船橋市立湊町小学校
授業者	板垣 敬太

### 1. 単元計画

#### 1-1. 単元名

環境守り隊
-------

#### 1-2. 学年

4年
----

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間
-----------

#### 1-4. 単元の概要

本校4年生の総合的な学習の時間の年間テーマは「環境」である。昨年度3年生の学習では、地域について学ぶ中で、自分たちの地域には「海」があり、その「海」は「三番瀬」と呼ばれる東京湾の生態系を支える干潟であることを学習した。さらに、その三番瀬を守ろうとする人や、三番瀬が育てている海の幸の魅力を伝えようと尽力する人たちと関わり、自分たちの地域の魅力を学ぶことができた。

今年度は、昨年度の学びを生かして「環境」というテーマにつなげたいという思いから、海や川を足がかりに学習を始めることとした。身近な環境問題と言っても、すぐにはイメージができないという意見が多かったため、実際に海老川の下流や船溜まりにフィールドワークに行き、水質調査やその場の様子を観察する活動に取り組んだ。すると、水が思った以上に濁っていることや、ゴミが多く落ちていることに気が付き、このままでは昨年度学習している海の生き物たちが生活できなくなってしまうのではないかという危機感をもった。これを受けて、船橋市環境保全課の方をゲストティーチャーに招いて、自分たちが疑問に思っていることに答えてもらい、船橋市の水は、たくさんの人の努力により年々きれいになっていることを知らせたい。一方、この努力は行政だけでなく、自分たちの生活においても必要だと感じさせ、自分たちが環境を守るために何ができるのか真剣に考える学習となるように進めていきたい。

単元の最後には、ここまでの学習の成果を新聞やパンフレットにまとめ、授業参観の機会を使い、各家庭に啓発する活動に取り組んだ。また、調べ学習を進めていく中で、他の環境問題が関わっていることにも気が付き、改めて自分たちの生活や行動を振り返ることのできる学習にしていきたい。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

昨年度取り組んだ「船橋アンバサダー」では、学校のすぐ近くにある三番瀬には、たくさんの海の生き物がいることを知り、自分たちの地域の魅力を感じることができた。今年度は、その思いを受け継ぎつつ、児童のアンケート結果より、環境問題への関心が低かったことを受けて、その環境がこのままでは、維持できないかもしれない危機感を感じ、自分たちにできることはないか真剣に考えることを通して、環境問題についての見識を広めたり、もっと自分たちが過ごしているこの地球環境に興味をもったりしてほしいと考え、この単元を設定した。

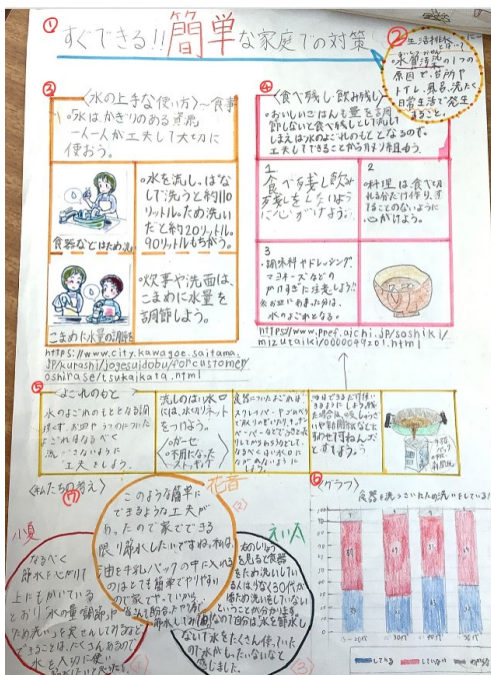
1-6. 育みたい資質や能力、態度

地域の人たちと一緒に活動したり、実物に触れ合ったりすることを通して、世の中の環境問題について知り、身近な環境についての課題を見つけ、課題の解決に向けて適切な方法を選択し、仲間と協働的に活動したり、自分の思いや考えを表現したりできるようにする。

1-7. 単元の展開（全35時間）

時数	学習活動・主な内容	(・) 指導上の留意点 (○) 手立て
1 1 3	<p>○「環境問題」って知ってる？（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今世界で起きている環境問題について知る。</li> </ul> <p>○「なりたい自分」を考えよう（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一年間の総合的な学習の時間を積み重ねていくことで、どんな力を付けたいか、どんな自分になりたいか目標を立てる。</li> </ul> <p>○「環境問題」ってなんだろう？（3）</p>	<p>○環境問題についての関心を高めてもらうために、身近な川の写真、日本で起きている気温上昇などの問題を ICT を活用して提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的に学習の場面などを提示して、なりたい自分へのイメージを膨らませることができるようにする。</li> </ul> <p>○インターネットを使って調べ学習を行う。</p>
2 2 2	<p>○自分たちの身近にある環境問題にはどんなものがあるのだろうか？</p> <p>○フィールドワークに出よう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの地域に当てはまる環境問題がないか自分の目で確かめる</li> </ul> <p>○三番瀬環境学習館に行って話を聞いてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三番瀬の様子を観察や、今もっている疑問を聞いてみよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたことの情報共有し、身近に環境問題が起きていないか考える。</li> </ul> <p>○実際に自分たちの地域を歩いて学習のヒントを探る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川や海にゴミがたくさん落ちていることや、川の水が濁っているように見えることなどに気づかせ、危機感や問題意識を持てるようにする。</li> </ul> <p>○実際に感じたことや危機感、疑問を三番瀬環境学習館に聞きに行く。</p>
2 1 2 1	<p>○「水質汚染」とは？船橋の水は大丈夫？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先日見学した際に、たくさんのゴミが落ちていたり、濁っていたりしたけど、汚染は進んでいるのだろうか。</li> </ul> <p>○水質調査の結果から考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パックテストの結果を見て、思った以上に結果が悪くなかったけれど本当？</li> </ul> <p>○船橋の水質に詳しいプロに話を聞いてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全課の方に今までの歴史も含めて聞いてみよう。</li> </ul> <p>○聞いたことを整理しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの人の努力、技術の発達により、水質は改善されてきている。しかし、人口はどんどん増加している。水をきれいにするのにまた水を使わなければならない。など</li> </ul>	<p>○教師が海老川の何カ所かの地点の水を採取し、パックテストをおこない、目の前で結果を示す。</p> <p>○三番瀬環境学習館の話だけでは、水質の問題までは分からないことが分かり、次は、船橋市役所環境保全課の方を講師に招いて、出前講座を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞いたことを整理し、次の課題を設定する。</li> <li>・社会科の学習と絡めて、自分たちの普段使っている水は、近くの川から引いていることを知り、更に切実感をもって学習に取り組めるようにする。</li> </ul> <p>○まずは個人で聞いたことを付箋にまとめる。次時でロイロノートの共有機能を用いて、思考ツールに班でまとめていけるようにする。</p>

<p>1 ○自分たちにできることは何だろうか (本時)</p> <p>2 ○実践するための計画を立てよう</p> <p>11 ○自分たちにできる取り組みを計画に沿って進めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ・スライド・新聞作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時にまとめた付箋をもとに共有しながら考えをまとめていく。</li> <li>・学習計画をそれぞれのグループで立案させて、実行させる。</li> <li>・まとめる方法については、各グループで決めてよいこととする。それぞれのねらいにあった表現方法を選択できるようにする。</li> </ul>
<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参観でお家の人たちに自分たちの思いを伝えよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参観の場を活用して、学年同時展開で行う。</li> </ul> <p>○QRコードを提示し、参観した人から意見や感想をもらえるようにする。</p>
<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここまでの学習をふり返ろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見てもらった人から答えてもらったアンケートなどをもとに、自分たちの学習を振り返る。</li> <li>・なりたい自分に近づくことができたかどうか振り返る。</li> </ul>



**～家庭環境ゴミ～**  
**《キッチン・トイレ》**

**《コラム》**  
梅沢・新井

～1人が使っている水の量～

《家庭環境》

10月14日(金)

～発行先～  
新井 韓 梅沢

引用一覧  
引用: www.pref.saitama.lg.jp

環境新聞

～家庭で取り組む方法～

10月14日(金)

～発行先～  
新井 韓 梅沢

引用一覧  
引用: www.pref.saitama.lg.jp

**《調味料調べ》**

私は、みんがよく使っている調味料がどれくらい海に届いているかを調べてみました。

私達は、みんがよく使っている調味料がどれくらい海に届いているかを調べてみました。

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

身近な環境問題を解決する方法について話し合いながら考えることができる。（思考・判断・表現）

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	○教師の指導・支援 / ◇評価の視点（方法）
<p>1 ここまでの学習の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●川の見学、環境保全課、三番瀬の学習について</li> <li>●自分たちの身の回りの環境を守るために何をしなければならないのか</li> <li>●前時までに環境問題についての情報を集めているので、それを共有し整理する</li> </ul> <p>2 学習問題を立てる。</p>	<p>○前時の児童の感想や疑問、ここまでの学習の流れや目的を振り返る。</p> <p>○振り返りがしやすいよう学級掲示を整えておく。</p> <p>○付箋、ロイロノート、ワークシートにここまでの分をまとめておく。</p> <p>○めあてを振り返りシートに記入する。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自分たちの環境を守るために何ができるか考えよう</div>	
<p>3 今日の学習の進め方の確認</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①ロイロノートの共有ノートにグループごとに自分の付箋を貼りながら、小グループで自分が集めた情報を伝え合う（思考ツールはそれぞれのグループで選択する）</li> <li>②みんなで情報を整理していく（KJ法）</li> <li>③班で考えをまとめる</li> <li>④クラス全体で共有する</li> <li>⑤今後の活動を考える</li> </ol>	<p>○以前他教科の学習でも行っていることを確認し、学習をイメージさせることで、説明の時間は最小限に抑え、次の話し合い活動に十分時間が確保できるようにする。</p> <p>○話し合いは学級会で行っている3段階討議で行う。（出し合う→比べ合う→まとめる）</p> <p>○緑：自分たちがやるべきこと 黄：分かったこと現状 青：疑問でまとめる（前時までにやる）</p> <p>○必要に応じて、前時までに作ってある情報カードなども活用する。</p>
<p>4 小グループで話し合い</p>	<p>◇集めた情報を整理し、課題を解決する方法について</p>

<p>●予想される児童の考え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちもそうだが、この現状を知らなかったから、他にも知らない人はたくさんいると思う</li> <li>・ごみが多かったから、ゴミを減らす取り組みをやってみたい。</li> <li>・ゴミ拾いをしたい。</li> <li>・環境保全課の人たちもこれから自分たちの生活を見直して、やれることはやっていかないといけないと言っていたよ。</li> <li>・家庭でできる取組をまとめて、家族に伝えたらよいかもかもしれない。</li> <li>・新聞やパンフレット、ポスターにまとめて人に伝えたい。</li> <li>・まだまだ情報が足りないから、もう一回調べ直さないといけない。                    など</li> </ul> <p>5 全体で情報共有をし、今後の活動について考える</p> <p>●予想される今後の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もう一度調べ直す</li> <li>・家族に伝え、身近なところからまず取り組んでみる</li> <li>・専門家にもう一度話を聞く</li> <li>・現地を見に行く            など</li> </ul> <p>6 まとめる</p> <p>●今後の方向性についてまとめる</p> <p>7 本時の学習のふりかえり →次時の学習</p>	<p>考えることができる (思考判断表現②活動観察)</p> <p>○重なりが多いところ、重なりが少ないところが見えやすいようにして、今後の活動について考えやすいようにする。</p> <p>○個々の学びを板書に整理し、関連付けていく。</p> <p>○実際に自分の目で確かめること、専門家から聞いたこと、インターネットで調べたことを統合して、何を誰に伝えたいのかをはっきりさせる。</p> <p>○ゴミを拾うなどの意見が多く出ることが想定されるが、それを行うことよりも、啓発することで、今後のゴミを減らすことにつながることや、自分たちの生活を見直すこと、意識を変えていくことの方が、大切であるという価値観を見いだせるようにしたい。</p> <p>○出した結論をもとに、次回以降の活動について、少し話し合っってイメージを持たせておく。</p> <p>○学んだことをワークシートに記入し、次時への見通しを持</p>
---	---

### 3. 今回の活動の自己評価

<p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童は切実感をもって学習に取り組むことができていた。人に現状や対策を伝えたいと考え、自分たちがまとめたものを一生懸命伝えることができていた。</li> <li>・学習したことを様々な方法でまとめることができたため、表現する力を一定程度伸ばすことができた。</li> <li>・地域の人材や教材を学習に取り入れることで、インターネットだけでは得ることのできない情報を得ることができた。児童も自分の目で確かめることの重要性を感じていた。</li> <li>・学習が終わった後も、自分たちの生活を振り返り、生活を改めようとする児童がおり、学びが生活に生かされていた。</li> </ul>
--

▲課題

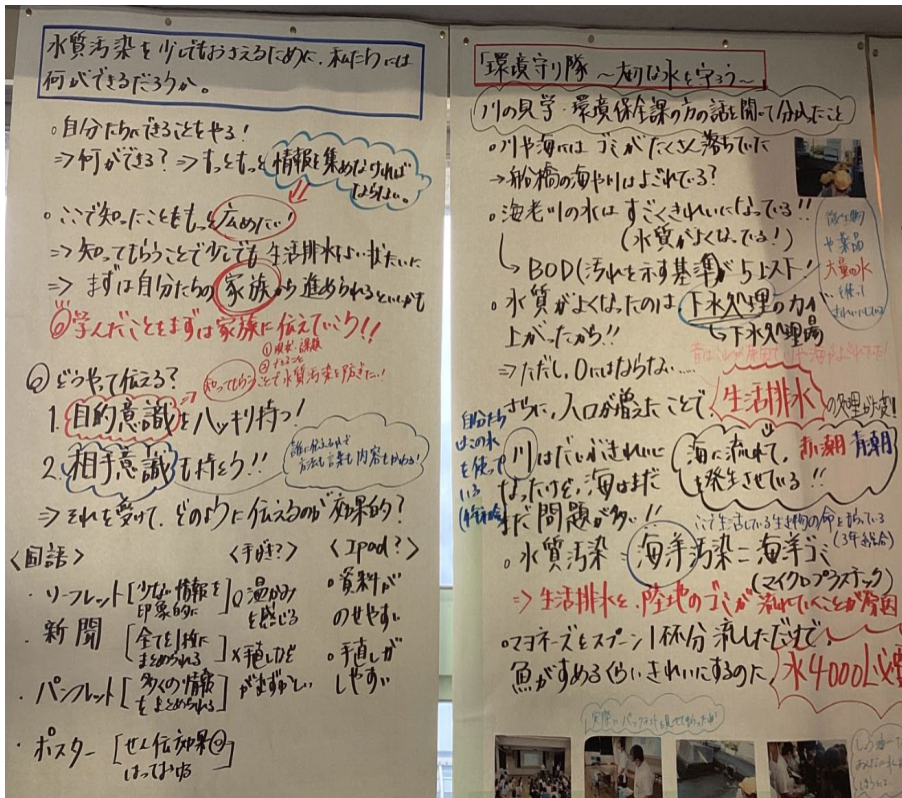
- ・人に伝えることはできたが、表現するスキルをもっと高めることができるよう指導をしなければならなかった。今後はもっと細部にこだわって学習を進められるようにしたい。
- ・児童自ら外部と関われるよう関係を取ることができるようにしたい。外部に話しを聞く時の依頼なども経験もさせてあげられるようにしたい。
- ・概念的な知識の獲得はある程度できてはいたが、分からない言葉などがあつたときに、そのまま学習を進めている児童がいたので、もっと深く言葉や事象の意味を追求していく学びの姿勢が出てくるよう授業を進めていきたい。

4. 今後の課題

・環境問題という大きく、抽象的な学習に児童が真剣に取り組むためには、「切実感」「課題意識」を一人一人がしっかりと持てるように学習を進めることが大切であると改めて感じた。机上の空論だけにならないようにするために、フィールドワークに出たり、外部機関・専門機関と連携を取ったりして、具体性を大切に学習していく必要がある。そこで、校内の体制作りや計画的に学習を進めるためのカリキュラムマネジメントが課題になってくると感じた。こういった課題を解決し、持続可能な単元として同学年の児童が深い学びができるようにしていきたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし



### 水質汚染の原因

水質汚染の主な原因は、生活排水です。生活排水とは私たちが日常で使った水のことです。海と生活排水とさんごう排水の割合が図3です。家の生活排水の割合が図4です。

図3 図4

水質汚染が進みすぎると赤潮が何層も発生し、水中の酸素がなくなり、魚が死んでしまいます。そして海洋汚染にもつながってしまいます。そうならないために生活排水を減らすには、お風呂に使った水を洗濯する水に使う、と省くことが大事になっています。拓

拓海・絢郁・柚希

---

### ごみの問題はプラスチック!?

水は無限にあるわけではない

みなさん、水は大切に使っていますか？水をキレイにするのにたくさん水を使います。(図1)。また、BODとは生物化学的酸素要求量です。水を減らさないためには家庭での工夫が大切です。例えば、歯磨きの時は水を止めたりするなど、簡単なことでも節水が出来ます。(図2)「節水するのは面倒」と思う方もいるかもしれませんが、本当にそれでいいのですか？一人でも多くの人が節水を行えば、私達に大切な水をずっと使えるようになります。「節水するのは面倒」、でもとても簡単な節水もあります。一人一人が節水を心がけることによってとても大切な水をより長く使うことができます。みなさんも節水を心がけてください。

図1 図2

図3

拓海

引用ページ  
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizushigen/000007380.html> · [kegawa-gesui.or.jp](http://kegawa-gesui.or.jp) · [erc.pref.fukui.jp/wakayama-suiho.or.jp](http://erc.pref.fukui.jp/wakayama-suiho.or.jp) · [sfnter.com](http://sfnter.com)